

東通小学校4年生 産業の現場を見学



奥島農園のブルーベリーの収穫



野牛漁業協同組合のホタテむき



東通小学校では、地域の産業や文化を学ぶ体験を通して、自分の将来や生き方を考える「東通科」の授業が行われています。

7月14日、4年生が、収穫期を迎えたブルーベリーと地まきホタテの生産現場を見学しました。奥島農園（大利）では、ブルーベリーの手摘みを体験し、1粒ずつ丁寧に摘み取りをしました。採れたてのブルーベリーを、その場で試食した児童たちからは「甘くておいしい～！」との感想が聞こえてきました。

野牛漁業協同組合では、職員からホタテの生育状況等を伺い、地まきホタテの殻むきを体験しました。ホタテを手にして「あ！動いた！」「目はどこかな？」等、観察していました。

児童たちは、地域を支える人々の仕事や思いに触れ、地域の産業への学びを深めました。

第34回下北畜産共進会 開催



開会式



表彰式



審査の様子



東通村の出品結果

2等入賞 5頭（合計12頭出品）

7月29日、下北地域の畜産振興と技術の向上を目的に「下北畜産共進会」が開催され、下北地域の生産者が丹精込めて育てた肉用牛が多数出品され、発育や体型、資質などについて、厳正な審査が行われました。

東通村からは、合計12頭が出品され、日頃の飼養管理の成果を発揮しました。そのうち2等入賞が5頭となり、健闘が光りました。

当日は、生産者や関係者の熱気に包まれ、情報交換も活発に行われ、地域の畜産振興につながる有意義な機会となりました。